

☆☆☆ あなたの声を町政へ ☆☆☆

(無所属)

パチンコ店建設反対
4面に関係記事掲載

木内としお 通信 第69号



上牧町議会議員
木内利雄

ごあいさつ

打水やもとより浄き飛驒格子 林 翔

近年では「打ち水」という光景をほとんど目にすることがありません。しかし、飛驒(岐阜県)や祇園(京都市)の町並みには「打ち水」がよく似合います。

パチンコ店の建設、出店反対 【4面参照】

常日頃よりのご支援に感謝、御礼申し上げます。

さて、上牧町・南上牧地域内で遊技場（パチンコ店など）の出店計画があります。その出店に反対する請願書が南上牧自治会、松里園自治会、松里園子ども会そして建設予定地近隣住民皆さんの4団体から提出され、6月定例議会で採択されました。

建設予定地は、児童らの通学路に隣接しているところであり、工事車両また出店後の交通量の増大による事故、騒音などによる平穏な生活が侵害される等々の懸念があります。「建設、出店反対」に住民の皆さんと共に汗を流したいと考えます。



あなたのご意見、ご要望を お聴かせ下さい

木内利雄 (きうち・としお)

〒639-0216 奈良県・上牧町松里園2-5-11
TEL 0745-78-7612 ・ FAX 0745-79-2241

E-mail : since96@k-toshio.com
<http://www.k-toshio.com> (ホームページ)

※本通信の旧号もホームページに掲載しています。



公約実現に全力投球

木内としお議員の 一般質問 (要旨)



質問事項

財政について

- ① 今後の見通しについて
- ② 財政再建への取り組み姿勢について

公共料金の値上げ

保育料、下水道使用料そしてゴミの有料化等々、住民の負担増が検討されている

木内 先の3月議会で町長は「財政健全化に向けて、受益者負担の原則にもとずきサービスに要したコストに対して、適正な負担を求める」として、保育料などの各種公共料金等の値上げを明言した。

そこで、時間に限りがあるのでゴミの有料化と下水道使用料について、実施開始年度そしてどの程度の値上げを考えているのか答弁を求める。

部長 ゴミの有料化については2006年度から実施とし、有料化の前提として「指定袋制度」の導入を考えている。また以下は担当者試案であるがゴミ袋1枚を50円で販売、平均的家族(4人)で年間100から120枚必要と想定しているため、1家族の負担増は年間で5,000円から6,000円と見込む。

下水道使用料 値上げ幅20~35%で検討

部長 下水道使用料についても2006年度から実施とし現行97円/m³を値上げ案として第1案120円/m³、第2案135円/m³を考えている。よって、平均的家族の負担増は年間7,200円から10,800円と見込む。(平均的家族の下水道使用量=約30m³/月)

~~~~~ 住民に負担を求めるなら

『収入役・助役職は廃止する』  
という方向が正しい選択だと考える

木内 有名な歴史書、三国志の中に「泣いて馬謖(ばしょく)を斬る」という言葉がある。この言葉を放った諸葛孔明(しょかつ・こうめい)の心境で以下のことを伺う。

住民サービスの低下や負担の増などが一部実施、また検討をされている。また、町職員の諸手当の削減、そして昨年度まで外部業者に全面委託していた町施設(庁舎、ペガサスホールなど)の管理について、今年度からその一部を町職員でカバーをしている。(=具体的には施設の日常清掃など)

### 1億円の削減が出来る

本町の財政状況を考えると「聖域」を設けず財政再建を目指し、「出来ること、考えられること」はすべて行うとの決意が必要である。

そこで、収入役および助役職については廃止するという方向が正しい選択だと考える。両役職を廃止すれば任期である4年間で人件費、退職手当負担金でおおむね1億円の削減が出来る。

町長 助役ならびに収入役は必要であると考えられる。現助役は予算執行の中心的存在また実務の経験者である。また現収入役は財政再建に取り組む上で必要な人材である。

## 助役・収入役について

定例議会の6月17日に任期満了にともなう助役、収入役の選任同意案を審議。賛成多数で可決、同意された。

助役は現職の青木初代氏、収入役も現職の浅芝辰夫氏をそれぞれ再任した。

木内議員は反対をしました。

### 木内議員の反対討論 (全文)

#### 「本町の財政状況を考えると助役、収入役の役職は廃止すべき」

木内利雄です。ただ今上程、審議されました人事案件『議、第11号 助役の選任について』反対の立場から討論を行います。

誤解があってははいけませんので、まずはじめに申し上げておきます。

今回任命権者の町長から指名、選任された『青木初代氏』について適任、不適任という次元の問題ではないということ。つまり昨日の私の一般質問【2面参照】でも申し上げたとおり、本町の財政事情を考えると『助役』という役職は廃止すべきである。という立場から反対するものでありますので念のため申し添えておきます。

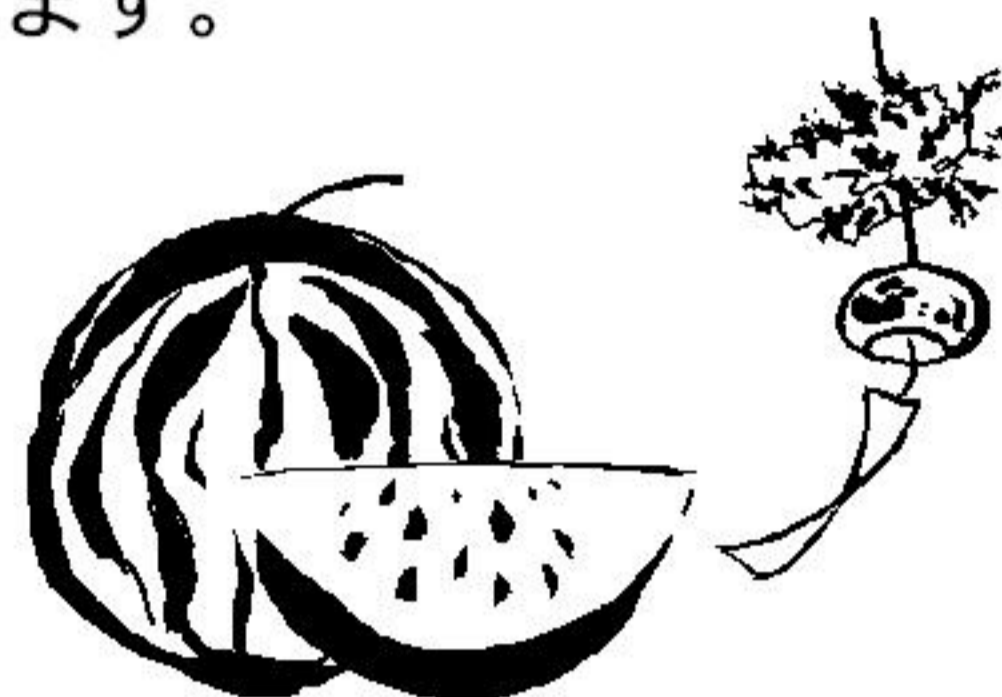
さて先の3月議会に町側が提出された『財政健全化に向けた取り組み』の中に以下の記述があります。

**【中期財政見通し】**本町の財政収支見通しは、景気の長期低迷や三位一体改革の影響により経常収入が減少し、少子高齢化による社会情勢の変化、維持管理経費の増加によりますます厳しくなり、今後の累積赤字額は06年度(平成18年度)に標準財政規模の20%を超える見込みとなり赤字再建団体【ことば参照】へ転落する可能性があります。

現下のきわめて厳しい財政状況、国の動向や社会経済状況の変化をふまえつつ、本町においても自己決定、自己責任の原則の下、行政事務を的確かつ効率的に処理するとともに安定的な財政運営を行うことが強く求められているため、多様化する住民ニーズに対応し、自主財源の確保、受益者負担の適正化、

事務事業の見直し等により財政の健全性の確保に努めます。と町当局が自ら述べているとおり、本町の財政状況はきわめて厳しい状況下にあります。

保育料、下水道使用料の値上げそしてゴミの有料化等々、住民への負担増が検討されています。



また提出されている財政健全化試案の中には、①保育料の改正 ②下水道使用料の改正 ③ゴミの有料化 ④学童保育負担金の徴収 ⑤時間外保育料の改正等々、住民への負担増が数多く列記されています。

町当局が机上で考慮、作成された『財政健全化に向けた取り組み』そして『財政健全化試案』がすべて計画通りに実施へと移行されても09年度(平成21年度)には累積収支で8億6800万円の赤字となることが明記されているものであります。

以上のような財政状況下で、町当局、なかんずく杉田町長が自らの決断で出来ること、つまり『助役職の廃止』をされないことは誠に残念であります。尚、最後になりましたが『助役職の廃止』を行うと、任期である4年間で人件費、退職手当負担金でおおむね5千万円が削減できることを申し上げ、私の反対の討論とさせていただきます。

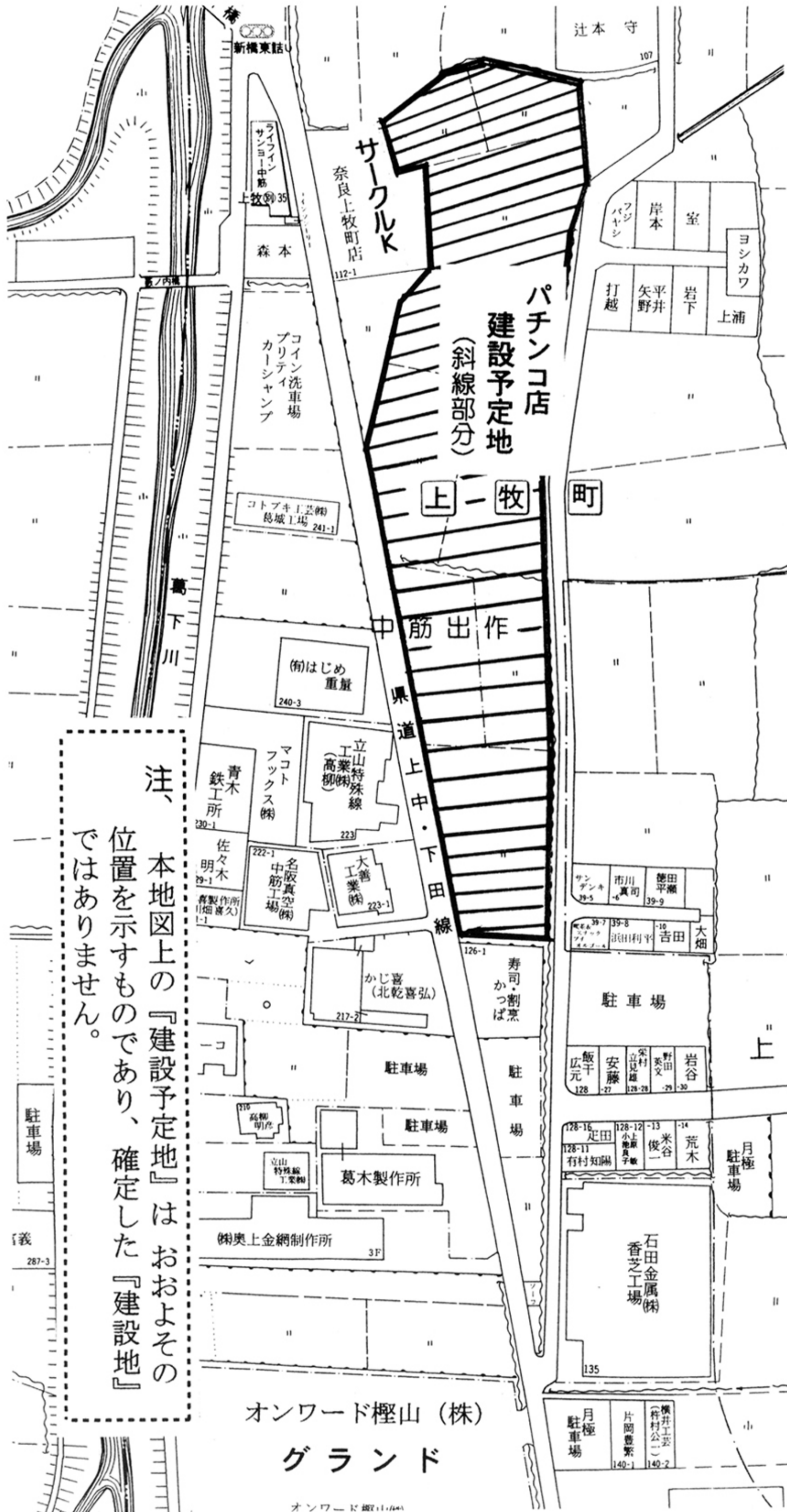
**【ことば】赤字再建団体**＝自治体版の会社更生法といえる「地方財政再建促進特別措置法」の適用を受けた自治体のことで、正式には「準用再建団体」。民間企業で言えば倒産の状態、国の完全な管理下に置かれて健全財政への転換を目指すことになる。

※詳細は大阪府泉南郡・田尻町HPで

<http://www.town.tajiri.osaka.jp/>

**【備考】**木内議員は収入役の選任についても反対した。反対趣旨は助役と同様の理由。なお助役、収入役職を廃止すれば任期4年間で約1億円の削減となる。

# 上牧町・南上牧地域への『遊技場(パチンコ店など)の建設反対』について



## 上牧町議会に提出された請願書

【要旨】 南上牧地域内に遊技場(パチンコ店など)の建設計画があります。当該計画が実施され遊技場が出店されれば近隣・地域住民の住環境などに及ぼす悪影響は計り知れないものがあります。よって、南上牧自治会は次の理由により建設、出店に反対するものです。

- 【理由】
1. 遊技場建設計画地は、現在「田畑」が広がる地域であり、遊技場建設による水害、水質汚染問題などが懸念される。
  2. 遊技場建設計画地は、児童らの通学路と隣接しているところであり工事用車両また出店後の交通量の増大による事故、そして児童、青少年達に及ぼす教育、社会環境の悪化などの問題。
  3. 騒音などによる平穏な生活権の侵害問題。

『遊技場(パチンコ店など)の建設反対』の住民署名用紙(署名総数=10,141人)を添付提出し、当該計画建設の中止を求めます。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。

上記「請願書」は町議会で審議の結果、全会一致で採択されました。